

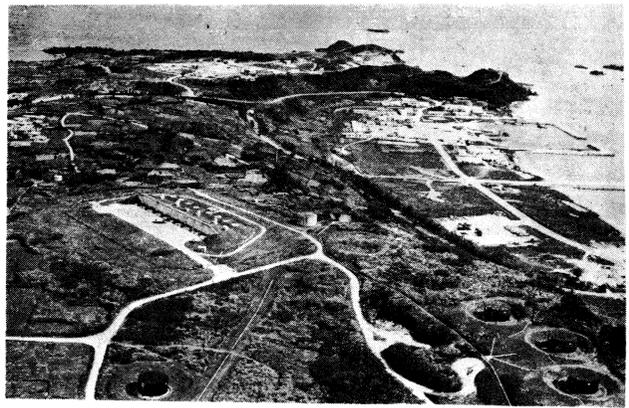


写真特集・基地

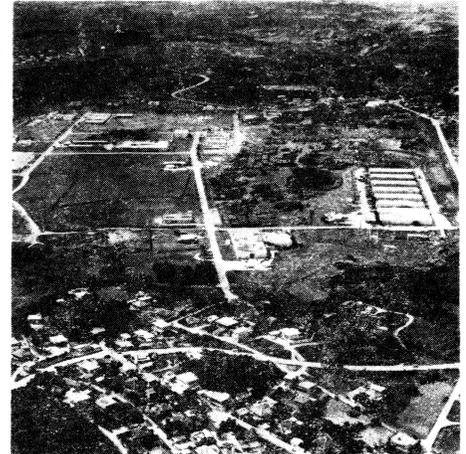
この地域発展を阻害するもの



① キャンプ瑞慶覧 ハンビー飛行場、泡瀬ゴルフ場、普天間住宅地区、キャンプ・フォスターなど十数カ所を統合した 240万坪に及ぶ広大な基地。コザ市、北谷村、北中城村、宜野湾市が解放を要求している。写真一左上はハンビー飛行場、太い道路は国道58号線(北谷三差路)と 330号線(ライカム三差路)をつなぐ軍用道路。右上の細い道路に沿う窮屈そうな家並みは北谷村の謝刈部落。

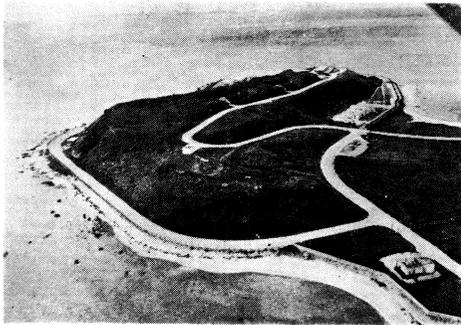


② ホワイト・ビーチ地区 与那城、勝連村にある国連軍も使用できる米軍港。面積58万坪。勝連村が平和地区地域の解放を要求している。写真一右がホワイト・ビーチ、中央は自衛隊が引き継ぐヌースB基地。

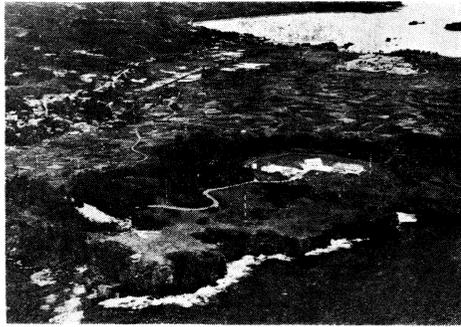


③ 知念補給地区 主眼、知念、佐敷の二村に広がる面積50万坪の基地。写真一右側と並ぶ白い建物は活動し、手前の道路は尾花

④ キャンプ・ハンセン 金武、恩納、宜野座、名護の四市村にわたる米海軍油庫最大の基地。面積一、五七万坪。恩納村、宜野座村が業者を数 脱出願望で、一部解放を要求している。写真一左の白煙ははいているが金武発電所、向うの山並をみた地帯はキャンプ・ハンセン。



⑤ 瀬長島基地 豊見城村にあり、面積が約4万5千坪。1月の日米安保協議会で那覇空軍・海軍補助施設の全面返還が合意されたので、同施設の一部である瀬長島も返されることになった。



⑥ 恩納通信所 恩納村字恩納にある。面積18万坪。写真一左前は万座毛、中央の白い建物はVOA受信所、その向うに広がる地域が恩納通信所。



納、北谷、美里、コザにまたがり、面積が620万坪。国連軍も使用できる極東最大の空軍基地。コザが都市計に必要な一部地域について解放を要求している。写真一左前はひめぎ合うコートをばさむ胡屋・上地。金斜一つへだてた向うには広々とした米軍人住宅のたたずまい

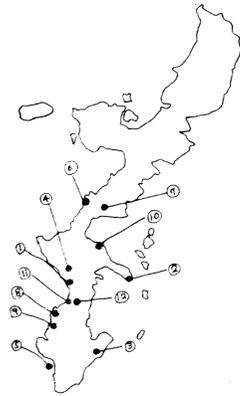
沖縄の基地の巨大な規模を時と見せられ、これまた、私たちが見えた基地、金斜線の側面であ



が全面解野積みさ



⑨ 牧港住宅地区 一月の目安保護費で一部返還が決定したが時期はまだ不明。面積約6万坪。写真、左を載つめた広いゆたかりな住宅地。比へて五八号線向うの過密な住宅地が対照的。左に見えるのは地球東洋ビル。



④ 嘉手納飛行場 基地である。嘉手納市の住宅街(第2)がある。上は旧走路。



⑩ 天願通信所 具前市にあり、面積が九万坪。写真、左下から右へ走る道路は千四号線、中央が那覇航空十字路。その向うが通信所。

軍事機密の保持を多々して米軍は、基地上空の飛行、撮影を完全に禁止して、その内容をつかもどする私たちの目を拒否してきたのです。

もしも、現在とて、基地表の飛行は閉ざされたものであり、基地写真も自由に撮影することを許さない、しかもこのまま米軍の空の独りばりはありません。

一月のほけ、土地連では、賃貸料の算定の軍用地の解放要求に必要と基礎資料としての「航空写真」をそろえるため、嘉手納飛行場(ハヌチ)をチャーターし、本島上空を飛べました。が、嘉手納飛行場、嘉手納弾薬庫地区、トリノ通商施設を含む重要基地上空の飛行は拒否されました。かろうじて撮ったのがこちらの写真です。

このように制限されたく内での航空写真撮影だったので、写真の数も多しはありません。しかし撮影できた写真は、今後の権利要求の資料にのみ使うつもりです。

土地連事務局には、掲載写真のほか、那覇空港、那覇軍港、那覇通商施設、キャンプ・マーシーの航空写真(四九・五〇)CM大を備え、あります。これを見れば、基地が地獄発展を阻害していることが一目でわかるはずです。ご活用下さい。



⑪ キャンプ・マーシー 宜野湾市にある米軍の小学校・倉庫で、面積11万坪。宜野湾市が全面解放を要求。写真、太い道路は国道58号線、その左は写真真志喜一帯。



⑫ 普天間飛行場 宜野湾市にある米海兵隊航空基地で、面積150万坪。宜野湾市が住宅地、商工業地造成のため全面解放を要求している。写真、手前は大山の米人向住宅地地域。



⑧ 牧港補給地区 浦添川にある軍需物資、支援基地。面積53万坪。浦添放を要求している。写真、補給基地だけあって、ところ狭しと軍需物置かれている。上方を横切る道路は那覇市一帯の国道58号線。

